新和支所に懐かしい水車が展示中

水路から田んぼに水を引き 揚げるために古くから使われ ていた水車が地元住民から市 に寄贈されました。今では貴 重な水車と、宮地岳からやっ て来たかかしが当時の光景を 見事に再現。この水車は来年 オープン予定の道の駅「宮地 岳かかしの里」でも展示予定 です。

「元気にしとらしたですか」 1人暮らしの高齢者へお弁当を届ける



▲お弁当を受け取り「ありがとう」と笑顔

城河原地域づくり振興会の社会福祉部 会の皆さんが、30人の一人暮らしの高齢 者宅を訪れ、お弁当を届けました。

同地区では毎年秋に、一人暮らしの高 齢者に声を掛けて食事会を開催して親睦 を深めていましたが、今年度は新型コロ ナウイルスの影響により中止。お弁当だ けでも楽しんでほしいと計画されました。

受け取った高齢者は、「思いがけない頂 き物でとてもうれしい。ありがとう」と 感謝され、部会員の皆さんが身体の調子 や近況を尋ねるなど、話に花を咲かせて いました。

楠浦小学校で伝統芸能「楠浦掘り切り唄」を披露 地域の伝統をつなぐ!

楠浦地区の伝統芸能「楠浦掘り切り唄」を 楠浦小学校の6年生が日曜参観日に保護者や 地域の皆さんを招いて披露しました。

この唄は、方原川下流の流れを変える、江 戸時代末期の工事のようすを再現したもので、 児童たちは太鼓や三味線に合わせて歌い、石 工や石を担ぐ女性役などを演じました。

観覧に来た地元の女性は、「50年前に青年 団がこの演舞を始めて、私たちもやっていま した。今は、子どもたちが受け継いでくれて いる | とうれしそうに話していました。



▲ふるさと学習の授業で地元の保存会などの指導を受けなが ら受け継いでいる

市ホームページ「トピックス」



ふるさとの伝統を受け継ぎ、伝える 栖本中学生が伝統芸能を発表



▲勇壮な太鼓踊りを披露

栖本小学校体育館で、小学生を前に栖本中 学校3年生が栖本太鼓踊りを披露しました。

同中学校では、300年を超える伝統をもつ 栖本太鼓踊りを学ぼうと授業に取り入れ、 11月に行われるイベントで披露していまし た。今年は新型コロナウイルスの影響で中止 となりましたが、小学生に地域の伝統芸能を 知ってもらいたいと発表の場を企画したもの です。

栖本太鼓を披露した男子生徒は、「父や祖 父が残してくれた伝統を受け継いでいきた い」と話し、鑑賞した児童は「太鼓の動きが 揃っていてきれいだった。中学生になったら 自分もやってみたい | と話していました。

御所浦診療所 建設工事安全祈願祭



成予定

地域の歴史を再発見 「大浦歴史講座」



▲歯科診療所と統合して令和4年完 ▲講師の説明を聞きながら名所旧跡 を巡る

牛深東中ふるさと体験事業 﨑津集落を現地学習



▲河浦中ボランティアガイドから説 明を受ける牛深東中の生徒たち

天草町高浜十五社神社祭



▲松の葉千本を1本ずつ奉納するこ とから、通称「千度参り」

河浦町崇円寺の晋山式に



▲子どもたちが華やかな装束で行列

互いに協力する知恵と態度



▲視力・聴力・筋力の衰えを疑似体験

市政だより 天草 No.308 2020.12 30

受章おめでとうございます 危険業務従事者叙勲、褒章~

た じり かおる **田尻 薫 さん** 八幡町・79歳 旭日双光章



の だ たか お **野田 隆生 さん** 今釜新町・75歳 瑞宝双光章







元公立中学校長



いのうえ よしみち **井上 善道 さん** 枦宇土町・71歳 瑞宝单光章



元天草広域連合消防司令



さ さ き Uげあみ **佐々木 成臣** さん 亀場町食場・73歳 瑞宝双光章 元熊本県警部



とみかわ ひかる **冨川 光** さん 牛深町・72歳 藍綬褒章 自然公園指導員

ふくおか かねたか **福岡 周孝** さん

大浜町·77歳

旭日双光章

ふかがわ やすゆき **深川 恭至** さん

ょこやま ひで ぉ **横山 英生** さん 本渡町本渡·71歳 旭日双光章 元本渡市議会議員 熊本県管工事業組合連合会副会長



まつえ よしひろ **松江 良博** さん 天草町高浜・64歳 瑞宝単光章 元天草市消防団分団長



の なか としみつ **野中 利光 さん** 本渡町本渡・72歳 瑞宝单光章 元天草広域連合消防司令補



ょしだ のりこ **吉田 法子 さん** 五和町御領·72歳 藍綬褒章 元調停委員



まつした みつひろ **松下 光宏** さん 本町本・73歳 藍綬褒章 自然公園指導員





て食べ

る体験では、

ちで育てたお米を炊い特に5年生が自分た

業にゲストティ

チャ

として参加している。

小中学校の家庭科の授 た親子料理教室のほか、 その保護者を対象にし

うに食べる子どもたち 飯とみそ汁をおい

食の大切さを丁寧に伝えていきたい

例えば、

保育園児と

のが、

町内唯一の保育園、

っている。同会で特に力を入れている庭のみそ汁の塩分濃度の測定などを行

19人の会員で健康に関する研修会や家

市内に10の分会があり、

栖本分会は

でくれる。

ンティアだ。

康づくりに取り組む地域の身近なボラ

進などを活動目標とし、

食を通した健

などを作る。

一緒に卵巻きずしやがねあげ、

齢者まで各世代に合った食育活動の推

食生活改善推進員は、子どもから高

関わり続けて食の大切さを伝えること 学校と連携し、幼児期から切れ目なく

広い年代に丁寧に伝えて

11親子で料理にチャレンジ 2「郷土料理で高校 生を送る会」で卵巻きずしづくり

郷の味を覚えていて懐かしいと思って力している。ふるさとを離れても、故生を招いて社会福祉協議会が開催するまた、毎年冬には町出身の高校3年 もらえたらうれしいと、子どもたちと 煮しめ

ご近所の人に言われるんです」と笑っ われるけん、気掛けて食べよるよ〟と、

「゛あんたによー

野菜ば食べろて言

て話すのは天草市食生活改善推進員協

議会栖本分会の皆さん。

栖本分会

(栖本町)

いる」と、これからも食の大切さを幅たちの体は自分が食べたものでできて む食の在り方が変化している中、「私 どもたちの成長が見られることがうれ しい」とやりがいを感じている。 生活習慣の変化とともに私たちを囲 「巻きずしの卵が厚かったり破けた 毎年出来は違ってもみんな楽しん 保育園から関わってきた子

33

市内から12人が受章されました。秋の叙勲と危険業務従事者叙勲、

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。

おめでとうございました。

秋の褒章が発表され、